

121 次の問いに答えよ。ただし、 $\lim_{x \rightarrow \infty} \frac{\log x}{x} = 0$  であること、また、 $e$  は自然対数の底で、 $e < 3$  であることを用いてよい。

- (1) 自然数  $n$  に対して、方程式  $\frac{\log x}{x} = \frac{1}{3n}$  は  $x > 0$  の範囲にちょうど2つの実数解をもつことを示せ。  
 (2) (1) の二つの実数解を  $\alpha_n, \beta_n$  ( $\alpha_n < \beta_n$ ) とするとき、  
 $1 < \alpha_n < e^{\frac{1}{3n}}, ne < \beta_n$   
 が成り立つことを示せ。また、 $\lim_{n \rightarrow \infty} \alpha_n$  を求めよ。

(2006-1)

(1)  $f(x) = \frac{\log x}{x}$   $x > 0$  のとき

$$f'(x) = \frac{\frac{1}{x} \cdot x - \log x}{x^2} = \frac{1 - \log x}{x^2}$$

$\therefore x = e$  のとき  $f'(x) = 0$ .

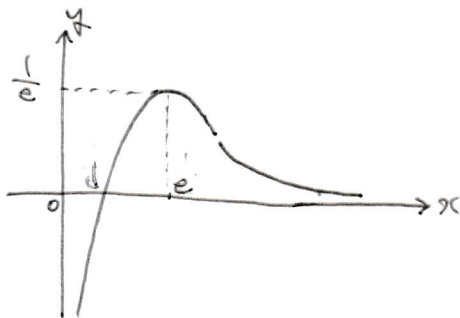
$x$	0	...	$e$	...
$f'$	-	+	0	-
$f$	-	$\nearrow$	$\frac{1}{e}$	$\searrow$

また、 $f(x) = 0$  のとき

$$\frac{\log x}{x} = 0 \quad \therefore x = 1$$

$$\lim_{x \rightarrow 0} f(x) = -\infty, \quad \lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = 0$$

よって、 $f = f(x)$  のグラフは下図。



よって、 $y = a$  ( $a = \text{定数}$ ) と  $y = f(x)$  と  
 共有点は2個もたしは、  
 $0 < a < \frac{1}{e}$

をみたす  $a$  はある。

$e < 3$  より、 $\frac{1}{3} < \frac{1}{e}$ .

$n \geq 1$  より、 $0 < \frac{1}{3n} < \frac{1}{e}$

$\therefore a = \frac{1}{3n}$  は条件をみたす。

$\therefore$  方程式  $\frac{\log x}{x} = \frac{1}{3n}$  は

$x > 0$  の範囲にちょうど2つの実数解をもつ。

(2)  $g(x) = \frac{\log x}{x} - \frac{1}{3n}$  (2つを考慮)

$$g(1) = -\frac{1}{3n} < 0$$

$$g(e^{\frac{1}{3n}}) = \frac{\frac{1}{3n}}{e^{\frac{1}{3n}}} - \frac{1}{3n}$$

$$= \frac{1}{e^{\frac{1}{3n}} \cdot 3n} - \frac{1}{3n}$$

$\therefore e < 3$  より、 $e^{\frac{1}{3n}} < 3$ .

$\therefore \frac{1}{e^{\frac{1}{3n}}} > \frac{1}{3}$  より

$$g(e^{\frac{1}{3n}}) > 0$$

$y = g(x)$  は  $1 < x < e^{\frac{1}{3n}} < e$

で単調増加であり、 $g(1) < 0, g(e^{\frac{1}{3n}}) > 0$

より、求める方程式の実数解のうち1つは

$1 < x < e^{\frac{1}{3n}}$  の範囲に存在する。

また、左図より、 $1 < \alpha_n < e^{\frac{1}{3n}}$

$$1 < \alpha_n < e^{\frac{1}{3n}}$$

$$\begin{aligned}
 f(ne) &= \frac{\log ne}{ne} - \frac{1}{3n} \\
 &= \frac{\log n + 1}{ne} - \frac{1}{3n} \\
 &> \frac{\log n + 1}{3n} - \frac{1}{3n} \\
 &= \frac{\log n}{3n} \geq 0. \quad (\because n \geq 1)
 \end{aligned}$$

†7:

$$\begin{aligned}
 \lim_{x \rightarrow \infty} f(x) &= \lim_{x \rightarrow \infty} \left( \frac{\log x}{x} - \frac{1}{3x} \right) \\
 &= -\frac{1}{3x} < 0.
 \end{aligned}$$

2<sup>o</sup>に、 $f(x)$ は  $(e <) ne < x$  で単調減少.

$\therefore$  実数解  $\beta_n$  は、 $ne < \beta_n$  であり、 $\square$ .

(2)の前半は示さずともよい.

$$1 < x_n < e^{\frac{1}{n}}$$

$$\therefore \lim_{n \rightarrow \infty} e^{\frac{1}{n}} = 1.$$

(2)の前半は示さずともよい.  $\lim_{n \rightarrow \infty} x_n = 1$   $\square$

122 直線  $l: y = x + a$  が曲線  $C: y = 2\sin x$  ( $-\pi \leq x \leq \pi$ ) に接しているとき、次の問いに答えよ。ただし、 $a \geq 0$  とする。

(1)  $a$  の値を求めよ。

(2) 曲線  $C$  と直線  $l$  で囲まれた図形の  $y \geq 0$  の範囲にある部分を、 $x$  軸のまわりに回転する。この回転体の体積を求めよ。

(2005-1)

(1)  $y = 2\sin x$   
 $y' = 2\cos x$

∴ 点  $(t, 2\sin t)$  における曲線  $C$  の接線の傾きは、 $2\cos t$ 。

直線  $l$  が曲線  $C$  に接する。∴  $l$  が  $C$  の接線となす傾きは、 $l$  の傾きは、 $1$ 。

$2\cos t = 1$  とする  $t$  ( $-\pi \leq t \leq \pi$ ) は、

$$\cos t = \frac{1}{2}$$

$$t = -\frac{\pi}{3}, \frac{\pi}{3}$$

∴  $l$  と  $C$  の接点とは、

$$\left(-\frac{\pi}{3}, -\sqrt{3}\right), \left(\frac{\pi}{3}, \sqrt{3}\right)$$

直線  $l$  が “この点を通る”。

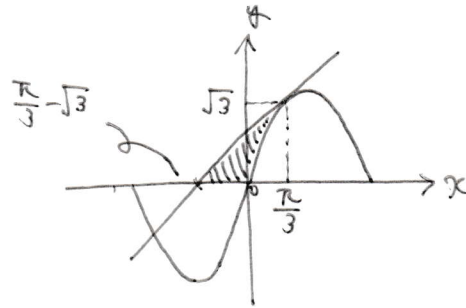
$$-\sqrt{3} = -\frac{\pi}{3} + a \Leftrightarrow a = \frac{\pi}{3} - \sqrt{3}$$

$$\sqrt{3} = \frac{\pi}{3} + a \Leftrightarrow a = \sqrt{3} - \frac{\pi}{3}$$

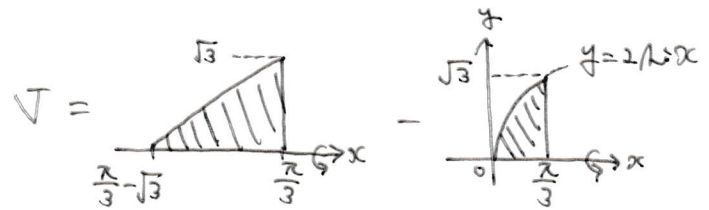
∴  $a \geq 0$  ∴

$$a = \sqrt{3} - \frac{\pi}{3} \quad \#$$

(2) 直線  $l$  の方程式は  $y = x + \sqrt{3} - \frac{\pi}{3}$ 。



求める体積は上記の斜線部分を  $x$  軸のまわりに回転させたものである。



$$V = \pi(\sqrt{3})^2 \cdot \sqrt{3} \times \frac{1}{3} - \pi \int_0^{\pi/3} (2\sin x)^2 dx$$

$$= \sqrt{3}\pi - 4\pi \int_0^{\pi/3} \sin^2 x dx$$

$$\because \int_0^{\pi/3} \sin^2 x dx = \int_0^{\pi/3} \frac{1 - \cos 2x}{2} dx$$

$$= \frac{1}{2} \left[ x - \frac{1}{2} \sin 2x \right]_0^{\pi/3}$$

$$= \frac{\pi}{6} - \frac{\sqrt{3}}{8}$$

$$\therefore V = \sqrt{3}\pi - 4\pi \left( \frac{\pi}{6} - \frac{\sqrt{3}}{8} \right)$$

$$= \frac{3}{2}\sqrt{3}\pi - \frac{2}{3}\pi^2 \quad \#$$

123 定数  $a, b$  を係数とする二次関数  $y = -ax^2 + b$  のグラフが、原点を中心とする半径 1 の円と異なる 2 点で接している。ただし、 $a > 0$  とする。

- (1)  $a, b$  の条件式、および接点の座標を求めよ。
- (2) 与えられた二次関数のグラフと  $x$  軸で囲まれる部分を、 $y$  軸のまわりに回転して得られる回転体の体積  $V$  を  $a$  を用いて表せ。
- (3)  $V$  を最小にする  $a, b$  の値、およびそのときの  $V$  の値を求めよ。

(2000-2)

(1) 原点を中心とする半径 1 の円の方程式は、

$$x^2 + y^2 = 1 \Leftrightarrow x^2 = 1 - y^2$$

この円と  $y = -ax^2 + b$  の共有点の  $y$  座標は、

$$y = -a(1 - y^2) + b$$

$$\Leftrightarrow ay^2 - y + b - a = 0 \quad \dots \textcircled{1}$$

の解をみる。

2つの曲線の接点の  $y$  座標は、2つの方程式の重解をとりよすこと、判別式を 0 とみる。

$$D = 1 - 4a(b - a) = 0$$

$$4a^2 - 4ab + 1 = 0$$

$$b = \frac{4a^2 + 1}{4a} \quad \dots \textcircled{2}$$

接点の  $y$  座標は、

$$ay^2 - y + \frac{4a^2 + 1}{4a} - a = 0$$

$$\Leftrightarrow ay^2 - y + \frac{1}{4a} = 0$$

$$\Leftrightarrow a\left(y - \frac{1}{2a}\right)^2 = 0$$

接点の  $y$  座標は、

$$y = \frac{1}{2a}$$

また、 $0 < y < 1$

$$0 < \frac{1}{2a} < 1$$

$$2a > 1 \quad \therefore a > \frac{1}{2} \quad \dots \textcircled{3}$$

共有点の  $x$  座標は、 $x^2 + y^2 = 1$  (\*)

$$x^2 + \frac{1}{4a^2} = 1$$

$$x^2 = 1 - \frac{1}{4a^2} = \frac{4a^2 - 1}{4a^2}$$

$$x = \pm \frac{\sqrt{4a^2 - 1}}{2a} \quad \dots \textcircled{4}$$

③ ~ ④ 判。

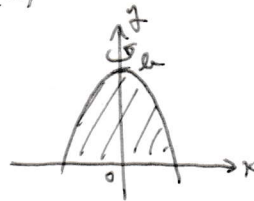
a. ② の条件式は

$$b = \frac{4a^2 + 1}{4a}, \quad a > \frac{1}{2}$$

接点の

$$\left( \pm \frac{\sqrt{4a^2 - 1}}{2a}, \frac{1}{2a} \right)$$

(2)



求める体積  $V$  は、左図の斜線部分を  $y$  軸のまわりに回転して得られるものである。

$$V = \pi \int_0^b x^2 dy$$

$$= \pi \int_0^b \frac{b - y}{a} dy$$

$$= \frac{\pi}{a} \left[ by - \frac{1}{2}y^2 \right]_0^b$$

$$= \frac{\pi}{2a} \cdot b^2$$

$$= \frac{\pi}{2a} \cdot \left( \frac{4a^2 + 1}{4a} \right)^2 = \frac{(4a^2 + 1)^2}{32a^3} \pi$$

(3).  $V \geq a$  の関数  $V(a)$  を求めよ.

$$V'(a) = \frac{2(4a^2+1) \cdot 8a \cdot 32a^3 - (4a^2+1)^2 \cdot 3 \cdot 32a^2}{(32a^3)^2}$$

$$= \frac{32a^2(4a^2+1)(16a^2 - (2a^2+3))}{(32a^3)^2}$$

$$= \frac{(4a^2+1)(4a^2-3)\pi}{32a^4}$$

$a > \frac{1}{2}$  のとき  $a = \frac{\sqrt{3}}{2}$  のとき  $V'(a) = 0$ .

$a$	$\frac{1}{2}$	---	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	---
$V'$	+	-	0	+
$V$		↓		↑

増減表より  $a = \frac{\sqrt{3}}{2}$  のとき  $V$  は最小値

$$V\left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right) = \frac{(4 \cdot \frac{3}{4} + 1)^2}{32 \left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right)^3} \pi$$

$$= \frac{16}{12\sqrt{3}} \pi = \frac{4}{3\sqrt{3}} \pi.$$

よって

最小値は  $\frac{4}{3\sqrt{3}} \pi$  である。

$$h = \frac{4}{2\sqrt{3}} = \frac{2}{\sqrt{3}}$$

124  $C_1, C_2$  をそれぞれ次式で与えられる放物線の一部とする。

$C_1: y = -x^2 + 2x$  ( $0 \leq x \leq 2$ ),  $C_2: y = -x^2 - 2x$  ( $-2 \leq x \leq 0$ )  
 また,  $a$  を実数とし, 直線  $y = a(x+4)$  を  $l$  とする。

(1) 直線  $l$  と  $C_1$  が異なる2つの共有点を持つための  $a$  の値の範囲を求めよ。

以下,  $a$  が (1) の条件を満たすとする。このとき,  $l$  と  $C_1$  で囲まれた領域の面積を  $S_1$ ,  $x$  軸と  $C_2$  で囲まれた領域で  $l$  の下側にある部分の面積を  $S_2$  とする。

(2)  $S_1$  を  $a$  を用いて表せ。

(3)  $S_1 = S_2$  を満たす実数  $a$  が  $0 < a < \frac{1}{5}$  の範囲に存在することを示せ。

(1) 直線  $l$  と  $C_1$  の共有点の  $x$  座標は。

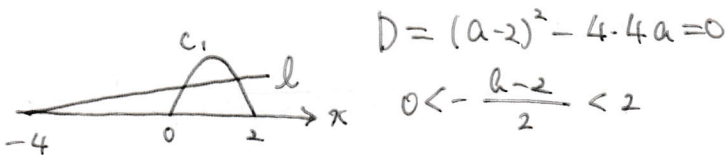
(2015-1)

$$-x^2 + 2x - a(x+4) = 0 \quad \dots \textcircled{1}$$

これを解く。

$$\textcircled{1} \Leftrightarrow x^2 + (a-2)x + 4a = 0$$

$0 < x < 2$  となる  $l$  と  $C_1$  が異なる2つの共有点を持つ条件は。



$$D = (a-2)^2 - 4 \cdot 4a = 0$$

$$0 < -\frac{a-2}{2} < 2$$

$$\text{すなわち } 0 < -\frac{a-2}{2} < 2 \text{ より}$$

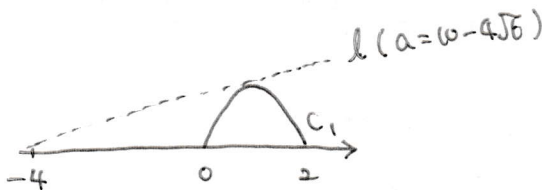
$$-2 < a < 2 \quad \dots \textcircled{2}$$

$$\text{また } (a-2)^2 - 16a = 0 \text{ より}$$

$$a^2 - 20a + 4 = 0$$

$$a = 10 \pm 4\sqrt{6} \quad \dots \textcircled{3}$$

$$\textcircled{2} \textcircled{3} \text{ より } a = 10 - 4\sqrt{6}$$

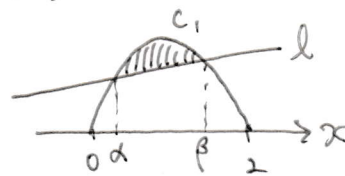


上図より,  $l$  と  $C_1$  が異なる2つの共有点を持つ条件は。

もつ条件は。

$$0 \leq a < 10 - 4\sqrt{6}$$

(2)



求める面積  $S_1$  は  
 左図の斜線部であり。  
 2つの共有点  $\alpha, \beta$  ( $\alpha < \beta$ )  
 とおくと。

$$S_1 = \int_{\alpha}^{\beta} \{-x^2 + 2x - a(x+4)\} dx$$

$$= - \int_{\alpha}^{\beta} (x-\alpha)(x-\beta) dx$$

$$= \frac{1}{6}(\beta-\alpha)^3$$

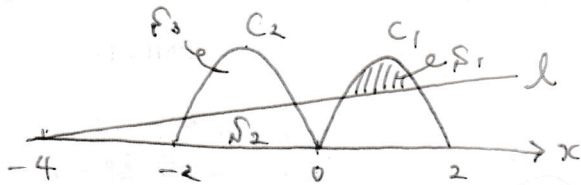
すなわち,  $\textcircled{1}$  より, 共有点の  $x$  座標は

$$x = \frac{-(a-2) \pm \sqrt{a^2 - 20a + 4}}{2}$$

$$\text{よって } \beta - \alpha = \sqrt{a^2 - 20a + 4}$$

$$\therefore S_1 = \frac{1}{6} (\sqrt{a^2 - 20a + 4})^3$$

(3)



まず

$$\begin{aligned}
 S_2 + S_3 &= \int_{-2}^0 \{-x^2 - 2x\} dx \\
 &= -\int_{-2}^0 x(x+2) dx \\
 &= \frac{1}{6} \cdot 2^3 = \frac{4}{3}
 \end{aligned}$$

次に、 $C_2$  と  $l$  の共有点の  $x$  座標を  $\alpha, \beta$  ( $\alpha < \beta$ ) とおく。

$$\begin{aligned}
 S_3 &= \int_{\alpha}^{\beta} \{-x^2 - 2x\} - a(x+4) dx \\
 &= \frac{1}{6} (\beta - \alpha)^3
 \end{aligned}$$

よって

$$\begin{aligned}
 (-x^2 - 2x) - a(x+4) &= 0 \\
 \Leftrightarrow x^2 + (2+a)x + 4a &= 0 \quad (*) \\
 x &= \frac{-(2+a) \pm \sqrt{(2+a)^2 - 16a}}{2} \\
 &= \frac{-(2+a) \pm \sqrt{a^2 - 12a + 4}}{2}
 \end{aligned}$$

よって

$$\beta - \alpha = \sqrt{a^2 - 12a + 4}$$

$$\therefore S_3 = \frac{1}{6} (\sqrt{a^2 - 12a + 4})^3$$

以上の結果より

$$\begin{aligned}
 S_1 = S_2 &\Leftrightarrow S_1 = \frac{4}{3} - S_3 \\
 &\Leftrightarrow \frac{1}{6} (\sqrt{a^2 - 12a + 4})^3 = \frac{4}{3} \\
 &\quad - \frac{1}{6} (\sqrt{a^2 - 12a + 4})^3
 \end{aligned}$$

よって、 $S_1 = S_2$  となる  $a$  の範囲  $0 < a < \frac{1}{5}$  であることを示す。

$\frac{1}{6} \{ (\sqrt{a^2 - 12a + 4})^3 + (\sqrt{a^2 - 12a + 4})^3 \} - \frac{4}{3} = 0$  となる  $a$  の範囲  $0 < a < \frac{1}{5}$  の範囲に存在することを示す。

•  $a = 0$  のとき

$$(左辺) = \frac{1}{6} \{ 2^3 + 2^3 \} - \frac{4}{3} = \frac{4}{3} > 0$$

•  $a = \frac{1}{5}$  のとき

$$\begin{aligned}
 (左辺) &= \frac{1}{6} \left\{ \left(\frac{1}{5}\right)^3 + \left(\frac{\sqrt{41}}{5}\right)^3 \right\} - \frac{4}{3} \\
 &= \frac{1}{6} \left( \frac{1 + (\sqrt{41})^3}{5^3} - \frac{10^3}{5^3} \right)
 \end{aligned}$$

$$1^3 + (\sqrt{41})^3 < 10^3 \quad (*)$$

$$(左辺) < 0$$

$\therefore S_1 = S_2$  となる  $a$  の範囲

$0 < a < \frac{1}{5}$  の範囲に存在する

125 座標平面上の曲線  $C_1, C_2$  をそれぞれ

$$C_1: y = \log x (x > 0), C_2: y = (x-1)(x-a)$$

とする。ただし、 $a$  は実数である。 $n$  を自然数とすると、曲線  $C_1, C_2$  が 2 点  $P, Q$  で交わり、 $P, Q$  の  $x$  座標はそれぞれ  $1, n+1$  となっている。また、曲線  $C_1$  と直線  $PQ$  で囲まれた領域の面積を  $S_n$ 、曲線  $C_2$  と直線  $PQ$  で囲まれた領域の面積を  $T_n$  とする。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1)  $a$  を  $n$  の式で表し、 $a > 1$  を示せ。
- (2)  $S_n$  と  $T_n$  をそれぞれ  $n$  の式で表せ。
- (3) 極限值  $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{S_n}{n \log T_n}$  を求めよ。

(2016-1)

(1)  $y = \log x$  と  $y = (x-1)(x-a)$  の  
 $P(1,0)$  と  $Q(n+1, \log(n+1))$  で「交点」を求めよ。

$$\log(n+1) = (n+1-1)(n+1-a)$$

$$\log(n+1) = n(n+1-a)$$

$$\log(n+1) - n(n+1) + na = 0$$

$$a = n+1 - \frac{1}{n} \log(n+1) \quad \#$$

<証明>

$$a-1 = n - \frac{1}{n} \log(n+1)$$

$$= \frac{1}{n} (n^2 - \log(n+1))$$

$a > 1$  であることを示す。  $a-1 > 0$  であることを示す。

(右辺)  $> 0$  であることを示す。  $n \geq 1$  とする。

$$n^2 > \log(n+1) \text{ であることを示す。}$$

$$n^2 - \log(n+1) = f(n) \text{ とおく。}$$

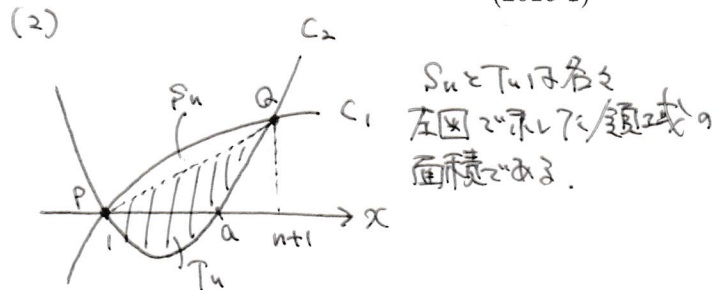
$$f'(n) = 2n - \frac{1}{n+1}$$

$$= \frac{2n(n+1) - 1}{n+1} > 0 \quad (n \geq 1)$$

$$\therefore f(n) > f(1) = 1 - \log 2 > 0$$

よって、 $a-1 > 0$  i.e.  $a > 1$

□



$$T_n = \int_1^{n+1} (PQ - C_2) dx$$

$$= - \int_1^{n+1} (x-1)(x-(n+1)) dx$$

$$= \frac{1}{6} \{(n+1)-1\}^3 = \frac{n^3}{6} \quad \#$$



$$= \int_1^{n+1} \log x dx - \frac{1}{2} n \log(n+1)$$

$$= [x \log x]_1^{n+1} - \int_1^{n+1} dx - \frac{1}{2} n \log(n+1)$$

$$= (n+1) \log(n+1) - n - \frac{1}{2} n \log(n+1)$$

$$= \frac{n+2}{2} \log(n+1) - n \quad \#$$



(3) (2)の結果を用いて.

$$\begin{aligned}\frac{S_n}{n \log T_n} &= \frac{\frac{n+2}{2} \log(n+1) - n}{n \log \frac{n^3}{6}} \\ &= \frac{(n+2) \log(n+1) - 2n}{2n (3 \log n - \log 6)} \\ &= \frac{n+2}{2n} \cdot \frac{\log(n+1)}{3 \log n - \log 6} - \frac{1}{3 \log n - \log 6}\end{aligned}$$

∴

$$\frac{n+2}{2n} \rightarrow \frac{1}{2} \quad (n \rightarrow \infty)$$

$$\frac{1}{3 \log n - \log 6} \rightarrow 0 \quad (n \rightarrow \infty)$$

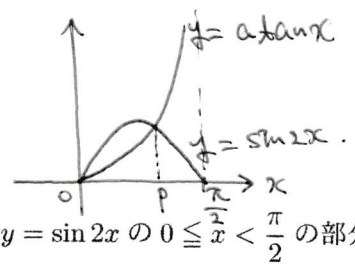
$$\frac{\log(n+1)}{3 \log n - \log 6} = \frac{\log(n+1)}{\log n} \cdot \frac{1}{3 - \frac{\log 6}{\log n}}$$

$$\rightarrow 1 \cdot \frac{1}{3} \quad (n \rightarrow \infty)$$

$$\therefore \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{S_n}{n \log T_n} = \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{3} - 0$$

$$= \frac{1}{6}$$

∴



126 定数  $a > 0$  に対し、曲線  $y = a \tan x$  の  $0 \leq x < \frac{\pi}{2}$  の部分を  $C_1$ 、曲線  $y = \sin 2x$  の  $0 \leq x < \frac{\pi}{2}$  の部分を  $C_2$  とする。以下の問いに答えよ。

- (1)  $C_1$  と  $C_2$  が原点以外に交点を持つための  $a$  の条件を求めよ。
- (2)  $a$  が (1) の条件を満たすとき、原点以外の  $C_1$  と  $C_2$  の交点を  $P$  とし、 $P$  の  $x$  座標を  $p$  とする。 $P$  における  $C_1$  と  $C_2$  のそれぞれの接線が直行するとき、 $a$  および  $\cos 2p$  の値を求めよ。
- (3)  $a$  が (2) で求めた値のとき、 $C_1$  と  $C_2$  で囲まれた図形の面積を求めよ。

(2017-1)

(1)  $y = a \tan x$  と  $y = \sin 2x$  の交点の  $x$  座標は、

$0 \leq x < \frac{\pi}{2}$  にあつて、

$$a \tan x = \sin 2x.$$

$$\Leftrightarrow a \frac{\sin x}{\cos x} = 2 \sin x \cos x.$$

$$\Leftrightarrow \sin x (a - 2 \cos^2 x) = 0.$$

$$x \neq 0 \text{ より } \cos x = \sqrt{\frac{a}{2}}.$$

つまり  $x$  は「原点以外の交点」であらう。

$0 < x < \frac{\pi}{2}$  より「交点」をもつのは

$$0 < \sqrt{\frac{a}{2}} < 1$$

すなわち、

$$0 < a < 2$$

—#

(2)  $C_1$  にあつて、 $y' = \frac{a}{\cos^2 x}$

$C_2$  にあつて、 $y' = 2 \cos 2x$ .

つまり、条件は「点  $P$  で  $C_1$  と  $C_2$  が直行する」となる。

$$\frac{a}{\cos^2 p} \cdot 2 \cos 2p = -1.$$

$$\Leftrightarrow 2a(2 \cos^2 p - 1) = -\cos^2 p.$$

すなわち (1) より  $\cos p = \sqrt{\frac{a}{2}}$  である。

$$2a \cdot \left(2 \cdot \frac{a}{2} - 1\right) = -\frac{a}{2}$$

$$4a^2 - 4a = -a.$$

$$a(4a - 3) = 0$$

$$\therefore a = 0, \frac{3}{4}.$$

$a > 0$  より

$$a = \frac{3}{4} \quad \text{—#}$$

また、

$$\cos 2p = 2 \cos^2 p - 1$$

$$= 2 \cdot \frac{a}{2} - 1 = -\frac{1}{4} \quad \text{—#}$$

(3) (2) より  $a = \frac{3}{4}$ .

$$S = \int_0^p \left( \sin 2x - \frac{3}{4} \tan x \right) dx$$

$$= \left[ -\frac{1}{2} \cos 2x - \frac{3}{4} \log |\cos x| \right]_0^p$$

$$= -\frac{1}{2} \cos 2p - \frac{3}{4} \log |\cos p| + \frac{1}{2}$$

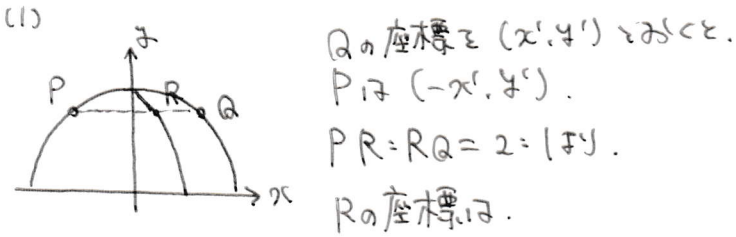
$$= -\frac{1}{2} \cdot \left(-\frac{1}{4}\right) - \frac{3}{4} \log \sqrt{\frac{1}{2} \cdot \frac{3}{4}} + \frac{1}{2}$$

$$= \frac{5}{8} - \frac{3}{8} \log \frac{3}{2} \quad \text{—#}$$

127 原点を中心とする半径3の半円  $C: x^2 + y^2 = 9$  ( $y \geq 0$ ) 上の2点PとQに対し、線分PQを2:1に内分する点をRとする。以下の問いに答えよ。

- (1) 点Pのy座標とQのy座標が等しく、かつPのx座標はQのx座標よりも小さくなるようにPとQが動くものとする。このとき、線分PRが通過してできる図形Sの面積を求めよ。
- (2) 点Pを(3, 0)に固定する。Qが半円C上を動くとき線分PRが通過してできる図形Tの面積を求めよ。
- (3) (1)の図形Sから(2)の図形Tを除いた図形と第1象限の共通部分をUとする。Uをy軸のまわりに1回転させてできる回転体の体積を求めよ。

(2018-2)



$$\left(\frac{2x' - x'}{3}, y'\right) = \left(\frac{1}{3}x', y'\right)$$

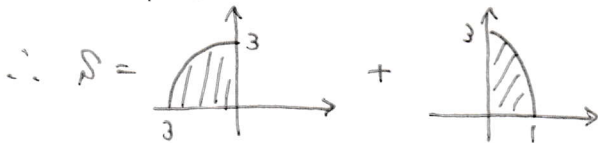
R(x, y) とおくと

$$\begin{cases} x = \frac{1}{3}x' \\ y = y' \end{cases} \quad (y' \geq 0)$$

$(x', y')$  は半円C上より。

$$(3x)^2 + y^2 = 9 \quad (y \geq 0)$$

よってRの軌跡は、楕円  $(3x)^2 + y^2 = 9$  のうち、第1象限内のみである。



$$= \frac{1}{4} \cdot 9\pi + \frac{1}{4} \cdot 3 \cdot 1 \cdot \pi$$

$$= 3\pi$$

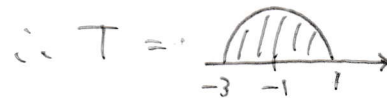
$$\therefore x' = \frac{3}{2}(x+1), \quad y' = \frac{3}{2}y.$$

$(x', y')$  は半円C上より。

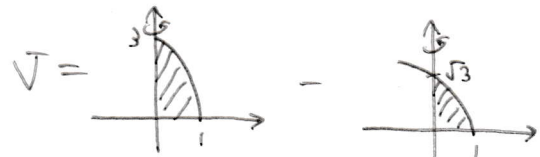
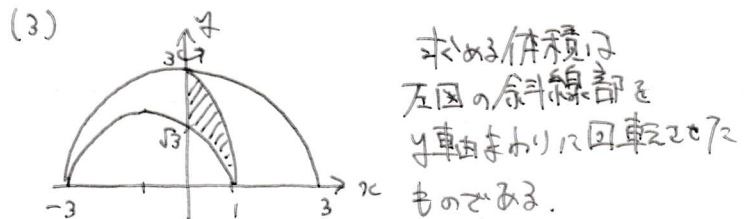
$$\frac{9}{4}(x+1)^2 + \frac{9}{4}y^2 = 9$$

$$(x+1)^2 + y^2 = 4 \quad (y \geq 0)$$

∴ Rの軌跡は中心(-1, 0) 半径2,  $y \geq 0$ の半円。



$$= \frac{1}{2} \cdot 4\pi = 2\pi$$



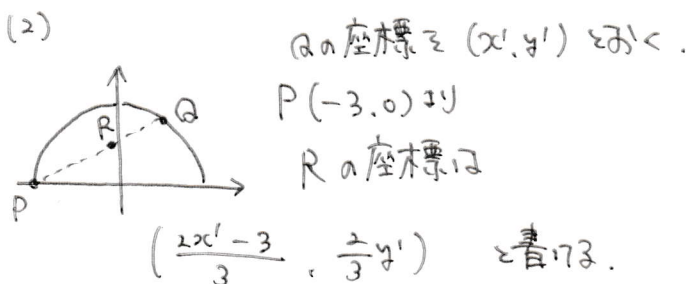
$$= V_1 - V_2$$

とおくと。

$$V_1 = \pi \int_0^3 x^2 dy$$

$$= \pi \int_0^3 \left(1 - \frac{1}{9}y^2\right) dy$$

$$= \pi \left[ y - \frac{1}{27}y^3 \right]_0^3 = 2\pi$$



R(x, y) とおくと

$$\begin{cases} x = \frac{2x' - 3}{3} \\ y = \frac{2}{3}y' \end{cases} \quad (y' \geq 0)$$

(2) に於ける  $R$  の方程式は  $(x+1)^2 + y^2 = 4$  ( $y \geq 0$ )

すなわち

$$(x+1)^2 = 4 - y^2$$

$$x+1 = \pm \sqrt{4-y^2}$$

$$x = \pm \sqrt{4-y^2} - 1$$

$$x \geq 0 \text{ ならば}$$

$$x = \sqrt{4-y^2} - 1 \quad (y \leq \sqrt{3})$$

$$\therefore V_2 = \pi \int_0^{\sqrt{3}} x^2 dy$$

$$= \pi \int_0^{\sqrt{3}} (\sqrt{4-y^2} - 1)^2 dy$$

$$= \pi \int_0^{\sqrt{3}} (5 - y^2 - 2\sqrt{4-y^2}) dy$$

$$= \pi \left[ 5y - \frac{1}{3}y^3 \right]_0^{\sqrt{3}} - 2\pi \int_0^{\sqrt{3}} \sqrt{4-y^2} dy$$

$$= 4\sqrt{3}\pi - 2\pi \left( \int_0^{\sqrt{3}} \sqrt{4-y^2} dy \right)$$

$$= 4\sqrt{3}\pi - 2\pi \left( 4\pi \cdot \frac{1}{6} + \frac{1}{2}\sqrt{3} \right)$$

$$= 3\sqrt{3}\pi - \frac{4}{3}\pi^2$$

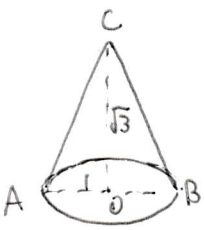
$$\therefore V = 2\pi - 3\sqrt{3}\pi + \frac{4}{3}\pi^2$$

—H

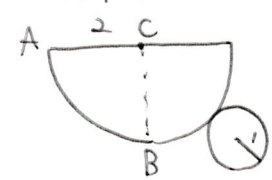
128 長さ2の線分ABを直径とする円を底面とし、高さが $\sqrt{3}$ の直円錐を考える。この直円錐の側面上で2点A, Bを結ぶ最短の道を $l$ とする直円錐の頂点をC, 底面の中心をOとし、以下の問いに答えよ。

- (1) 直円錐の展開図を用いて $l$ の長さを求めよ。
- (2)  $l$ 上の点Pに対して、線分CPの延長と弧ABの交点をQとする。 $\angle AOQ = \theta$ として $CP^2$ を $\sin \theta$ で表せ。ただし、 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ とする。
- (3) Pから線分OQに下ろした垂線をPRとし、Aから線分OQに下ろした垂線をASとする。 $0^\circ < \theta < 90^\circ$ の範囲で $\frac{OS^2}{OR^2}$ の最大値を求めよ。

(1999-2)



(1) 展開図は下図.

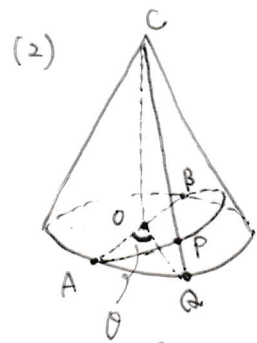


$OC = \sqrt{3}, AO = 1$  より  
 $AC = 2$ .

底面の円の周は  $2\pi$ .  
 側面のおりまわりの半径は  
 $2$  であり、おりまわりの角は  
 $\frac{2\pi}{4\pi} \times 2\pi = \pi$ .

求める $l$ は展開図での線分ABである。

$\therefore (l \text{ の長さ}) = 2\sqrt{2}$  //



$\angle AOQ = \theta$  であり、  
 $\angle ACQ = \frac{1}{2}\theta$  である。

$\triangle ACP$  において、  
 正弦定理より、

$$\frac{AC}{\sin \angle APC} = \frac{CP}{\sin \angle CAP}$$

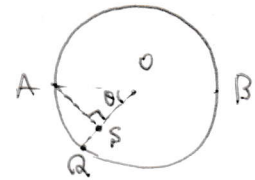
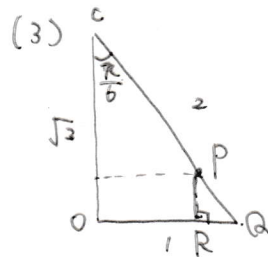
7da2"

$$CP = \frac{AC}{\sin \angle APC} \cdot \sin \angle CAP$$

$\therefore \angle CAP = \frac{\pi}{4}, AC = 2$  より

$$CP = \sqrt{2} \frac{1}{\sin \angle APC}$$

また、 $\angle APC = \pi - \frac{\pi}{4} - \frac{\theta}{2}$   
 $= \frac{3}{4}\pi - \frac{\theta}{2}$ .



$OS = 1 \cdot \cos \theta$   
 $OR = CP \cdot \sin \frac{\pi}{4}$   
 $= \frac{1}{2} CP$ .

$$\therefore \frac{OS^2}{OR^2} = \frac{4 \cos^2 \theta}{CP^2}$$

$$= \cos^2 \theta \cdot (1 + \sin \theta)$$

$$= (1 - \sin \theta)(1 + \sin \theta)$$

$$= (1 - \sin \theta)(1 + \sin \theta)^2$$

また、 $x = \sin \theta$  であり、

$$f(x) = (1-x)(1+x)^2 \quad (0 \leq x \leq 1)$$

と可也。

$$f'(x) = 2(1+x)(1-x) + (1+x)^2 \cdot (-1)$$

$$= (1+x)(1-3x)$$

増減表

x	0	---	$\frac{1}{3}$	---	1
f'	/	+	0	-	/
f	/	↗	⊕	↘	-

表より、 $x = \frac{1}{3}$  で  $f$  は最大値をとり、

$$\therefore \text{よって、} f\left(\frac{1}{3}\right) = \left(\frac{4}{3}\right)^2 \cdot \frac{2}{3} = \frac{32}{27}$$

よって  $\frac{32}{27}$  が最大値である。

—#

129 平面上の曲線  $C$  が媒介変数  $t$  を用いて  
 $x = \sin t - t \cos t, y = \cos t + t \sin t$  ( $0 \leq t \leq \pi$ )  
 で与えられている。

- (1) 曲線  $C$  の長さを求めよ。
- (2) 曲線  $C$  上の各点  $P$  において、 $P$  における接線と  $P$  で直行する直線を考える。この直線上の点で原点までの距離が最短となる点は、 $P$  を動かすときどんな図形を描くか。
- (3)  $\int_0^\pi t \sin 2t \, dt$  を求めよ。
- (4) 曲線  $C$  と  $y$  軸および直線  $y = -1$  で囲まれる図形の面積  $S$  を求めよ。

(1998-3)

11) 曲線  $C$  の長さを求めよ。

$$len = \int_0^\pi \sqrt{\left(\frac{dx}{dt}\right)^2 + \left(\frac{dy}{dt}\right)^2} dt$$

で表す。

$$\begin{aligned} \frac{dx}{dt} &= \cos t - (\cos t + t(-\sin t)) \\ &= t \sin t \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \frac{dy}{dt} &= -\sin t + (\sin t + t \cos t) \\ &= t \cos t \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \therefore len &= \int_0^\pi \sqrt{t^2(\sin^2 t + \cos^2 t)} dt \\ &= \int_0^\pi t dt = \frac{1}{2}\pi^2 \quad \text{---} \end{aligned}$$

(2) 法線と接線を求めよ。その包絡線を求めよ。

$$y - (\cos t + t \sin t) = -\frac{dx}{dy} (x - (\sin t - t \cos t))$$

$$\begin{aligned} \Leftrightarrow y - (\cos t + t \sin t) &= -\frac{t \sin t}{t \cos t} (x - (\sin t - t \cos t)) \\ &= -\frac{t \sin t}{t \cos t} (x - (\sin t - t \cos t)) \quad (t \neq 0, \frac{\pi}{2}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \Leftrightarrow y \cos t - \cos t (\cos t + t \sin t) &= -\sin t (x - (\sin t - t \cos t)) \\ &= -\sin t (x - \sin t + t \cos t) \end{aligned}$$

$$\Leftrightarrow y \cos t + x \sin t - 1 = 0 \quad \text{---} \textcircled{1}$$

また、原点から直線の垂線の足は、

$$y = \frac{\cos t}{\sin t} x \quad (t \neq 0, \pi)$$

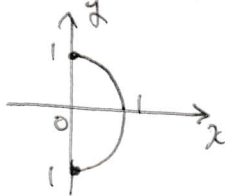
$$y \sin t - x \cos t = 0 \quad \text{---} \textcircled{2}$$

①②より、原点から直線の距離が最短となる点の座標は、 $(\sin t, \cos t)$  ( $t \neq 0, \frac{\pi}{2}, \pi$ )

$t = 0, \frac{\pi}{2}, \pi$  のときは  $(0, 1), (0, -1)$ 。

$(0, 1), (1, 0), (0, -1)$ 。

よって、 $P$  の軌跡は  $x^2 + y^2 = 1$  ( $x \geq 0$ )。



$$\begin{aligned} (3) \cdot \int_0^\pi t \sin 2t \, dt &= \left[ t \left(-\frac{1}{2} \cos 2t\right) \right]_0^\pi \\ &\quad - \int_0^\pi \left(-\frac{1}{2} \cos 2t\right) dt \\ &= -\frac{1}{2}\pi \quad \text{---} \end{aligned}$$

(4)  $t: 0 \rightarrow \pi$  で  $x: 0 \rightarrow \pi$ 。

$$\begin{aligned} \therefore S &= \int_0^\pi (y - (-1)) dx \\ &= \int_0^\pi \{ \cos t + t \sin t + 1 \} (t \sin t) dt \\ &= \int_0^\pi \{ t \cos t \sin t + t^2 \sin^2 t + t \sin t \} dt \end{aligned}$$

よって、

$$\int_0^\pi t \cos t \sin t \, dt = \frac{1}{2} \int_0^\pi t \sin 2t \, dt = -\frac{\pi}{4}$$

$$\begin{aligned} \int_0^\pi t^2 \sin^2 t \, dt &= \int_0^\pi t^2 \frac{1 - \cos 2t}{2} dt \\ &= \frac{1}{2} \left[ \frac{1}{3} t^3 \right]_0^\pi - \frac{1}{2} \int_0^\pi t^2 \cos 2t \, dt \\ &= \frac{\pi^3}{6} - \frac{1}{2} \left[ t^2 \cdot \frac{1}{2} \sin 2t \right]_0^\pi \\ &\quad + \frac{1}{2} \int_0^\pi 2t \cdot \frac{1}{2} \sin 2t \, dt \\ &= \frac{\pi^3}{6} + \frac{1}{2} \cdot \left(-\frac{1}{2}\pi\right) = \frac{\pi^3}{6} - \frac{1}{4}\pi \end{aligned}$$

$$\int_0^{\pi} t \cos t \, dt = [-t \sin t]_0^{\pi} + \int_0^{\pi} \sin t \, dt$$

$$= \pi.$$

$$\therefore P = \frac{\pi^3}{6} + \frac{\pi}{2}$$

— 4

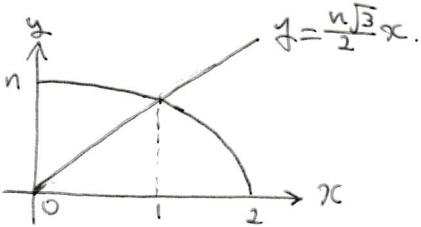


130 楕円  $\frac{x^2}{4} + \frac{y^2}{n^2} = 1$  ( $n = 1, 2, \dots$ )

の第一象限内の部分と、直線  $y = \frac{n\sqrt{3}}{2}x$  および  $x$  軸で囲まれる部分を  $A_n$  とし、 $A_n$  の面積を  $S_n$  で表す。また、 $A_n$  の内部および周上の点  $(x, y)$  のうち、 $x$  と  $y$  がともに整数であるものの総数を  $T_n$  で表す。次の問いに答えよ。

- (1)  $T_n, S_n$  を求めよ。  
 (2) 極限值  $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{T_n}{S_n}$  を求めよ。

(1995-3)



$S_n$  に注目.

$$S_n = \frac{\sqrt{3}}{2}n \cdot \frac{1}{2} + \int_1^2 y dx$$

(1) 第一象限内での共有点の  $x$  座標は、

$$\frac{x^2}{4} + \frac{1}{n^2} \cdot \left(\frac{n\sqrt{3}}{2}x\right)^2 = 1$$

$$\frac{x^2}{4} + \frac{3}{4}x^2 = 1$$

$$x^2 = 1$$

$x > 0$  より  $x = 1$

∴ ∴

$$\int_1^2 y dx = \int_1^2 n \sqrt{1 - \frac{x^2}{4}} dx$$

$$= \frac{1}{2}n \int_1^2 \sqrt{4 - x^2} dx$$

$$= \frac{1}{2}n \times \left[ 2 \cdot \frac{\pi}{3} - \frac{1}{2}\sqrt{3} \right]$$

-  $T_n$  に注目.

- $x=0$  のとき、 $y=0$  のみ成り格子点.
- $x=2$  のとき、 $y=0$  のみ成り格子点.
- $x=1$  のとき、 $0 \leq y \leq \frac{\sqrt{3}}{2}n$  範囲内.

$x, y$  がともに整数である格子点の数は、 $\left[\frac{\sqrt{3}}{2}n\right] + 1$ .

∴ ∴

$$S_n = \frac{\sqrt{3}}{4}n + \frac{\pi}{3}n - \frac{\sqrt{3}}{4}n$$

$$= \frac{\pi}{3}n$$

(2)

$$\frac{\sqrt{3}}{2}n - 1 < \left[\frac{\sqrt{3}}{2}n\right] < \frac{\sqrt{3}}{2}n + 1$$

$$\frac{\sqrt{3}}{2}n + 2 < \left[\frac{\sqrt{3}}{2}n\right] + 3 < \frac{\sqrt{3}}{2}n + 4$$

$$\frac{\frac{\sqrt{3}}{2}n + 2}{\frac{\pi}{3}n} < \frac{T_n}{S_n} < \frac{\frac{\sqrt{3}}{2}n + 4}{\frac{\pi}{3}n}$$

∴ ∴

$$\frac{\frac{\sqrt{3}}{2}n + 2}{\frac{\pi}{3}n} = \frac{3\sqrt{3}}{2\pi} + \frac{6}{\pi n} \rightarrow \frac{3\sqrt{3}}{2\pi}$$

$$\frac{\frac{\sqrt{3}}{2}n + 4}{\frac{\pi}{3}n} = \frac{3\sqrt{3}}{2\pi} + \frac{12}{\pi n} \rightarrow \frac{3\sqrt{3}}{2\pi}$$

∴ ∴. 楕円  $\frac{x^2}{4} + \frac{y^2}{n^2} = 1$  の第一象限内におけるものは、 $y = n\sqrt{1 - \frac{x^2}{4}}$

は  $\frac{3\sqrt{3}}{2\pi}$  の原理である.

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{T_n}{S_n} = \frac{3\sqrt{3}}{2\pi}$$

131  $xy$  座標平面で点  $P$  は点  $A(1, 0)$  を始点として、原点  $O$  を中心とする半径 1 の円周上を正の向きに一定の速さで回転する。点  $Q$  は動径  $OP$  上を原点  $O$  から出発して一定の速さで  $P$  に向かって進み、点  $P$  が円を 1 周して点  $A$  に戻ってきたときにちょうど点  $P$  に到達するとする。このときの点  $Q$  の軌跡を  $C$ 、 $\angle POA = \theta$ 、そして  $C$  と線分  $OQ$  とで囲まれる領域の面積を  $S(\theta)$  とする。次の問いに答えよ。

- (1)  $Q$  の座標を  $\theta$  を用いて表せ。
- (2) 上の座標を  $Q(\theta)$  とする。点  $Q(\pi)$  における  $C$  の接線と  $y$  軸との交点の座標を求めよ。
- (3)  $0 \leq \theta_1 < \theta_2 \leq 2\pi$  のとき
 
$$\frac{1}{2} \left( \frac{\theta_1}{2\pi} \right)^2 < \frac{S(\theta_2) - S(\theta_1)}{\theta_2 - \theta_1} < \frac{1}{2} \left( \frac{\theta_2}{2\pi} \right)^2$$
 を示せ。
- (4)  $\frac{dS(\theta)}{d\theta}$  および  $S(\theta)$  を求めよ。

(1)

$P$  が  $A$  まで (同じ速さで) 点  $Q$  が  $P$  に到達するまで。  
 $|OQ| = \frac{\theta}{2\pi}$   
 $\therefore Q$  の座標は、  
 $\left( \frac{\theta}{2\pi} \cos \theta, \frac{\theta}{2\pi} \sin \theta \right)$

(2)  $x = \frac{\theta}{2\pi} \cos \theta, \quad y = \frac{\theta}{2\pi} \sin \theta$  より

$$\frac{dx}{d\theta} = \frac{1}{2\pi} (\cos \theta - \theta \sin \theta)$$

$$\frac{dy}{d\theta} = \frac{1}{2\pi} (\sin \theta + \theta \cos \theta)$$

$\theta = \pi$  のとき、

$$\frac{dy}{dx} = \frac{\frac{dy}{d\theta}}{\frac{dx}{d\theta}} = \frac{\frac{1}{2\pi} (0 + \pi \cdot (-1))}{\frac{1}{2\pi} (-1 - \pi \cdot 0)} = \pi$$

また、  
 $Q(\pi) = \left(-\frac{1}{2}, 0\right)$   
 したがって、 $Q(\pi)$  における  $C$  の接線は、

$$y - 0 = \pi \left( x - \left(-\frac{1}{2}\right) \right)$$

$$y = \pi x + \frac{1}{2}\pi$$

$y$  軸との交点の座標は、  
 $\left(0, \frac{1}{2}\pi\right)$

(3) (1994-3)

$S(\theta_2) - S(\theta_1)$  は  
 右図の斜線部分がみよ。

図より、 $S(\theta_2) - S(\theta_1)$  は、半径  $\frac{\theta_1}{2\pi}$ 、中心角  $\theta_2 - \theta_1$  の扇形の面積より大きく、半径  $\frac{\theta_2}{2\pi}$ 、中心角  $\theta_2 - \theta_1$  の扇形の面積より小さい。

$$\therefore \frac{1}{2} \left( \frac{\theta_1}{2\pi} \right)^2 \cdot (\theta_2 - \theta_1) < S(\theta_2) - S(\theta_1) < \frac{1}{2} \left( \frac{\theta_2}{2\pi} \right)^2 \cdot (\theta_2 - \theta_1)$$

(4) (3) を示すことにあて、 $\theta_2 \rightarrow \theta_1$  とおくと、

$$\frac{S(\theta_2) - S(\theta_1)}{\theta_2 - \theta_1} \rightarrow \frac{1}{2} \cdot \left( \frac{\theta_1}{2\pi} \right)^2 \quad (\because \text{両辺を } \theta_2 - \theta_1 \text{ で割る})$$

よって、任意の  $\theta_1$  ( $0 < \theta_1 < 2\pi$ ) に対して成立する。従って定義より、

$$\frac{dS(\theta)}{d\theta} = \frac{1}{2} \left( \frac{\theta}{2\pi} \right)^2$$

$$S(\theta) = \int_0^\theta \frac{dS(\theta)}{d\theta} \cdot d\theta$$

$$= \int_0^\theta \frac{1}{2} \cdot \left( \frac{\theta}{2\pi} \right)^2 d\theta$$

$$= \frac{1}{8\pi^2} \left[ \frac{1}{3} \theta^3 \right]_0^\theta = \frac{\theta^3}{24\pi^2}$$

132 動点 P は原点から出発して、時刻  $t$  における座標は  $(t, 0)$  であるとする。また動点 Q は時刻  $t=0$  のとき点  $(0, 1)$  から出発して点 P との距離を一定に保ちながら、常に点 P に向かって (すなわち Q の速度ベクトルが  $\vec{QP}$  と平行であるように) 進むとする。このとき次の問いに答えよ。

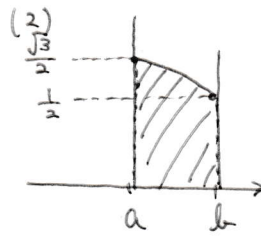
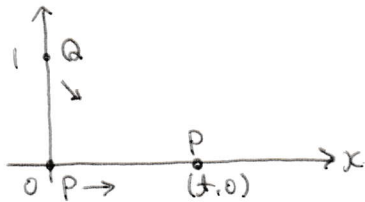
(1) 点 Q の時刻  $t$  における座標を  $(x, y)$  とすると、

$$\frac{dy}{dx} = -\frac{y}{\sqrt{1-y^2}}$$

が成り立つことを示せ。

(2) 点 Q の  $y$  座標が  $\frac{\sqrt{3}}{2}$  となったときの  $x$  座標を  $a$ 、 $y$  座標が  $\frac{1}{2}$  となった時の  $x$  座標を  $b$  とする。点 Q の描く曲線と  $x$  軸、直線  $x=a$ 、および直線  $x=b$  により囲まれる領域の面積を求めよ。

(1993-5)



求める面積は左図の斜線部である。

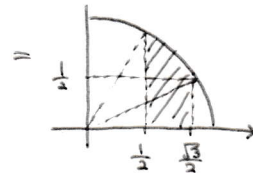
(1)より

$$\frac{dy}{dx} = -\frac{y}{\sqrt{1-y^2}}$$

$$\therefore y dx = -\sqrt{1-y^2} dy$$

$$S = \int_a^b y dx$$

$$= \int_{\frac{1}{2}}^{\frac{\sqrt{3}}{2}} \sqrt{1-y^2} dy$$



$$= \left( \frac{\pi}{12} + \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} \right) - \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$= \frac{\pi}{12}$$

—H

(1) Q の速度ベクトル  $(\frac{dx}{dt}, \frac{dy}{dt})$  が  $\vec{QP}$  と平行である。

$$\left( \frac{dx}{dt}, \frac{dy}{dt} \right) = k \vec{QP} \quad \text{と可なり.}$$

$$\vec{QP} = \begin{pmatrix} t \\ 0 \end{pmatrix} - \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$$

$$= \begin{pmatrix} t-x \\ -y \end{pmatrix} \quad \text{より}$$

$$\frac{dx}{dt} = k(t-x), \quad \frac{dy}{dt} = -ky$$

また、P と Q の距離は一定である。

$$(x-t)^2 + y^2 = 1$$

$$x-t = \pm \sqrt{1-y^2}$$

よって、 $x < t$  より、 $x-t < 0$ 。

$$\therefore x-t = -\sqrt{1-y^2}$$

よって、

$$\frac{dy}{dx} = \frac{\frac{dy}{dt}}{\frac{dx}{dt}} = \frac{-ky}{k(t-x)} = -\frac{y}{\sqrt{1-y^2}}$$

□

133 3次関数  $f(x) = x(x^2 + px + q)$  は  $x = \alpha$  ( $\alpha \neq 0$ ) で極大値 0 をとり,  $x = \beta$  で極小値  $-32$  を取るとする。次の問いに答えよ。

(1)  $\alpha, \beta, p, q$  を求めよ。

(2)  $f(x)$  を  $x$  軸の正の方向へ  $c$  ( $c > 0$ ) だけ平行移動した関数を  $g(x)$  とするとき, 2つの曲線  $y = f(x)$  と  $y = g(x)$  で囲まれる部分の面積を  $c$  で表せ。

(1)  $f(x)$  は  $x = \alpha$  ( $\neq 0$ ) で極大値 0 をとるから、

(1991-3)

$$f(x) = x(x - \alpha)^2$$

と書ける。

$$f'(x) = (x - \alpha)^2 + x \cdot 2(x - \alpha) \\ = (x - \alpha)(3x - \alpha)$$

$\therefore x = \alpha, \frac{\alpha}{3}$  で  $f(x)$  は極値をとる。

$x = \alpha$  で極大値,  $x = \frac{\alpha}{3}$  で極小値

$$\beta = \frac{\alpha}{3}$$

$$\therefore f(\beta) = -32 \text{ となる。}$$

$$\frac{\alpha}{3} \cdot \left(\frac{\alpha}{3} - \alpha\right)^2 = -32$$

$$4\alpha^3 = -32 \cdot 3^3$$

$$\alpha^3 = (-6)^3$$

$$\begin{cases} \alpha = -6 \\ \beta = -2 \end{cases}$$

$$\therefore f(x) = x(x + 6)^2$$

$$= x(x^2 + 12x + 36)$$

と書けるから、

$$p = 12, q = 36$$

(2)

$$(1) \text{より } f(x) = x(x + 6)^2$$

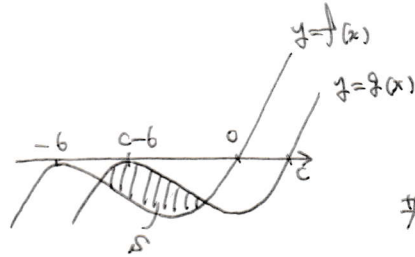
$$\text{また条件より } g(x) = (x - c)(x + 6 - c)^2$$

$$f(x) = g(x) \text{ となる。}$$

$$x(x + 6)^2 = (x - c)(x - c + 6)^2$$

と整理して、

$$3x^2 - 3(c - 6)x + (c - 6)^2 = 0 \dots \textcircled{1}$$



条件より  $y = f(x)$  と  $y = g(x)$  は共有点  $x = -6$  および  $x = c$  である。

①の判別式  $D < 0$  と  $c > 0$

$$D = 9(c - 6)^2 - 12(c - 6)^2 > 0$$

$$c^2 - 4c < 0$$

$c > 0$  より、

$$0 < c < 4\sqrt{3}$$

$\therefore$  2つの異なる実根  $x = -6$  と  $x = c$  がある。

$$S = \int_{-6}^c (g(x) - f(x)) dx$$

$$= -3c \int_{-6}^c (x - r)(x - \delta) dx$$

$$= 3c \frac{(\delta - r)^3}{6}$$

$$= \frac{1}{2} c \cdot (\delta - r)^3$$

$\therefore$  ②より、

$$r + \delta = \frac{3(c - 6)}{3} = c - 6$$

$$r\delta = \frac{1}{3} \cdot (c - 6)^2$$

$$\therefore (c - 6)^2 = (\delta + r)^2 - 4r\delta$$

$$= (c - 6)^2 - \frac{4}{3}(c - 6)^2 = \frac{1}{3}(4c - c^2)$$

$\therefore$

$$S = \frac{1}{2} c \cdot \left\{ \frac{1}{3}(4c - c^2) \right\}^{\frac{3}{2}}$$

$$= \frac{1}{6\sqrt{3}} c \cdot (4c - c^2)^{\frac{3}{2}} \quad (0 < c < 4\sqrt{3})$$

—#

134 楕円  $\frac{x^2}{4} + y^2 = 1$  上の第一象限内の点 P においてこの楕円に引いた接線が点 (4, 0) を通るとする。

(1) 点 P の座標を求めよ。

(2) O を原点, A を楕円の頂点 (2, 0) とする。第一象限において, 線分 OA, OP および楕円の弧  $\widehat{AP}$  で囲まれた部分の面積を求めよ。

(1990-4)

(1) 楕円上の点 P を  $(2 \cos \theta, \sin \theta)$  ( $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ ) とおく。

とく。

$$x = 2 \cos \theta, \quad y = \sin \theta \quad (*)$$

$$\frac{dx}{d\theta} = -2 \sin \theta, \quad \frac{dy}{d\theta} = \cos \theta.$$

$$\therefore \frac{dy}{dx} = -\frac{\cos \theta}{2 \sin \theta}.$$

接線の方程式は,

$$y - \sin \theta = -\frac{\cos \theta}{2 \sin \theta} (x - 2 \cos \theta)$$

(4, 0) を通るとする。

$$-\sin \theta = -\frac{\cos \theta}{2 \sin \theta} (4 - 2 \cos \theta)$$

$$\sin^2 \theta = \cos \theta (2 - \cos \theta)$$

$$1 - \cos^2 \theta = 2 \cos \theta - \cos^2 \theta$$

$$\cos \theta = \frac{1}{2}.$$

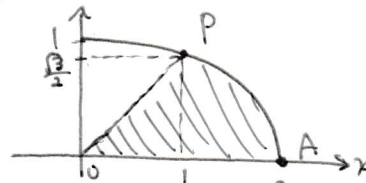
$0 < \theta < \frac{\pi}{2}$  より,

$$\theta = \frac{\pi}{3}.$$

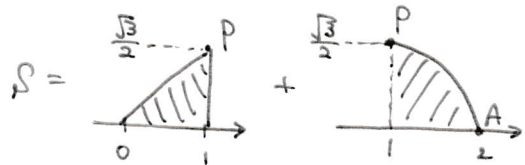
$\therefore$  点 P の座標は,  $(2 \cos \frac{\pi}{3}, \sin \frac{\pi}{3})$

$$\text{i.e. } (1, \frac{\sqrt{3}}{2}) \quad \text{---}$$

(2)



求める面積は  
左図の斜線部と  
右図の斜線部である。



$$= S_1 + S_2 \quad \text{とく。}$$

$$S_1 = \frac{1}{2} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot 1 = \frac{\sqrt{3}}{4}.$$

$S_2$  は,

$$S_2 = \int_1^2 y \, dx$$

$$= \int_{\frac{\pi}{3}}^0 \sin \theta \cdot (-2 \cos \theta) \, d\theta$$

$$= 2 \int_0^{\frac{\pi}{3}} \sin^2 \theta \, d\theta.$$

$$= 2 \int_0^{\frac{\pi}{3}} \frac{1 - \cos 2\theta}{2} \, d\theta$$

$$= 2 \left[ \frac{1}{2} \theta - \frac{1}{4} \sin 2\theta \right]_0^{\frac{\pi}{3}}$$

$$= \frac{\pi}{3} - 2 \cdot \frac{1}{4} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{\pi}{3} - \frac{\sqrt{3}}{4}.$$

$$S = S_1 + S_2$$

$$= \frac{\pi}{3} \quad \text{---}$$

135 (1)  $a > 0, b > 0$  のとき, 2 曲線  $y = \cos^2 \frac{x}{a}$  と  $y = \sin^2 \frac{x}{b}$  の交点の  $x$  座標で最小な正の値を求めよ.

(2)  $a > 0$  として, 4 曲線

$$C_1: y = \cos^2 \frac{x}{a}, \quad C_2: y = \sin^2 \frac{x}{a},$$

$$C_3: y = \cos^2 \frac{x}{a+1}, \quad C_4: y = \sin^2 \frac{x}{a+1}$$

を考える.  $p$  を  $C_1$  と  $C_2$  の交点の  $x$  座標で最小な正の値とし,  $q$  を  $C_3$  と  $C_4$  の交点の  $x$  座標で最小な正の値とすると,  $p \leq x \leq q$  の範囲でこの 4 曲線によって囲まれる図形の面積を求めよ.

(1989-3)

(1)

$$y = \cos^2 \frac{x}{a} = \frac{1 + \cos 2 \frac{x}{a}}{2}$$

$$y = \sin^2 \frac{x}{b} = \frac{1 - \cos 2 \frac{x}{b}}{2}$$

共有点の  $x$  座標は,

$$\frac{1 + \cos 2 \frac{x}{a}}{2} = \frac{1 - \cos 2 \frac{x}{b}}{2}$$

$$\Leftrightarrow \cos 2 \frac{x}{a} = -\cos 2 \frac{x}{b}$$

$$\Leftrightarrow \cos 2 \frac{x}{a} + \cos 2 \frac{x}{b} = 0.$$

$$\therefore 2 \cos \left( \frac{x}{a} + \frac{x}{b} \right) \cdot \cos \left( \frac{x}{a} - \frac{x}{b} \right) = 0.$$

∴  $\frac{x}{a} + \frac{x}{b} = \frac{\pi}{2}$  (2) 2.

$$\frac{x}{a} + \frac{x}{b} = \frac{\pi}{2} + 2m\pi$$

or

$$\frac{x}{a} - \frac{x}{b} = \frac{\pi}{2} - 2n\pi.$$

つまり,

$$\frac{a+b}{ab} x = \frac{\pi}{2} + 2m\pi.$$

or

$$\frac{b-a}{ab} x = \frac{\pi}{2} + 2n\pi.$$

$m=0$  として

$$x = \frac{ab}{2(a+b)} \pi \quad \text{or} \quad \frac{ab}{2(a-b)} \pi.$$

$$C_2: y = \sin^2 \frac{x}{a} = \frac{1 - \cos 2 \frac{x}{a}}{2}$$

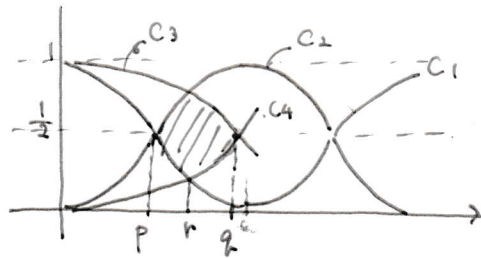
$$C_3: y = \cos^2 \frac{x}{a+1} = \frac{\cos 2 \frac{x}{a+1} + 1}{2}.$$

(2)

(1) 同し.

$$p = \frac{a \cdot a}{2(a+a)} \pi = \frac{a}{4} \pi.$$

$$q = \frac{(a+1)(a+1)}{2((a+1)+(a+1))} \pi = \frac{a+1}{4} \pi.$$



$C_1$  と  $C_4$  の共有点の  $x$  座標で最小なものを  $r$  とおくと,

$$r = \frac{a \cdot (a+1)}{2(a+1+a)} \pi = \frac{a(a+1)}{2(2a+1)} \pi.$$

$y = \frac{1}{2}$  での対称性より,

$$\frac{1}{2} S = \int_p^r \left\{ \frac{1 - \cos 2 \frac{x}{a}}{2} - \frac{1}{2} \right\} dx + \int_r^q \left\{ \frac{\cos 2 \frac{x}{a+1} + 1}{2} - \frac{1}{2} \right\} dx$$

$$= \int_p^r \left\{ -\frac{1}{2} \cos \frac{2x}{a} \right\} dx + \int_r^q \left\{ \frac{1}{2} \cos \frac{2x}{a+1} \right\} dx.$$

$$= \left[ -\frac{1}{2} \cdot \frac{a}{2} \sin \frac{2x}{a} \right]_p^r + \left[ \frac{1}{2} \cdot \frac{a+1}{2} \sin \frac{2x}{a+1} \right]_r^q$$

$$= -\frac{a}{4} \sin \frac{a+1}{2a+1} \pi + \frac{a}{4} \sin \frac{\pi}{2} + \frac{a+1}{4} \sin \frac{a}{2a+1} \pi - \frac{a+1}{4} \sin \frac{a}{2a+1} \pi$$

$$= \frac{2a+1}{4} - \frac{a}{4} \sin \frac{a+1}{2a+1} \pi - \frac{a+1}{4} \sin \frac{a}{2a+1} \pi$$

$$\therefore S = \frac{2a+1}{2} - \frac{a}{2} \sin \frac{a+1}{2a+1} \pi - \frac{a+1}{2} \sin \frac{a}{2a+1} \pi$$